

年間指導計画表

教科・科目	保健体育科・体育	単位数	3
		学科・学年・学級	普通科普通・第3学年男女 普通科創造表現コース第3学年男女

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	・各種運動の合理的な実践や競争・協同の経験を通して、運動技能を高め、競技の規則を守り、互いに協力をして責任を果たすなどの態度を育てる。 ・健康・安全に留意して、運動すると共に体力の向上を図り、心身のバランスのとれた発育をうながす。
使用教科書・副教材等	本校体育実技ノート、アクティブスポーツ(大修館)、現代高等保健体育（大修館）

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、構成、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	授業 実技ノート	25%
b. 思考・判断・表現	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指した、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	授業 実技ノート	25%
c. 技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	スキルテスト	25%
d. 知識・理解	運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法、スポーツの歴史、文化的な特性や現代スポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	授業 実技ノート	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	26	体づくり運動	「体育授業の受け方」について確認 集団行動、体ほぐし運動、ラジオ体操を再確認	○	○		○
	5		選択Ⅰ(男女共修) 器械運動、陸上競技、水泳球技、武道、ダンスから選択	技術などの名称や行い方、伝統的な考え方、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組み方を工夫できるようにする	○	○	○	○
	6		体育理論	「豊かなスポーツライフの設計」について学習する 生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ	○	○		○
	7		体づくり運動	体カトレーニング	○	○		○
	8	8	選択Ⅰ(男女共修)		○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					a	b	c	d	
後期	10	18	選択Ⅱ(男女共修) 器械運動, 陸上競技, 水泳球技, 武道, ダンスから選択	技術などの名称や行い方, 伝統的な考え方, 文化的背景と表現の仕方, 体力の高め方, 課題解決の方法, 競技会の仕方などを理解し自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする	○	○	○	○	
	11				○	○	○	○	
	12				○	○	○	○	
			18	体育理論					
					「豊かなスポーツライフの設計」について学習する 日本のスポーツ振興 スポーツと環境	○	○		○
						○	○	○	○
	1	14	選択Ⅲ(男女共修) 器械運動, 陸上競技, 水泳球技, 武道, ダンスから選択	特別時間割に応じて個別に実技指導を行う。	○	○	○	○	
	2				○	○	○	○	
	3				○	○	○	○	

【その他】

- ・各種目の積極的な参加と運動の特性を理解し, 自ら考え, 工夫して取り組み, ゲームなどを楽しめるようになってほしい。
- ・自分の体力を知り, 自己の体力の向上に何が必要か課題意識を持ち, 具体的な目標設定ができるようになってほしい。
- ・運動技能の習得だけでなく, 準備や後片付けなど協力共同の場面で積極的に行動してほしい。
- ・安全に配慮し, 互いが協力しながら楽しく授業に参加してほしい。

- ・授業を休まない。また, 見学をするときは, 授業担当者に事前に申し出て, 見学ノートを提出する。
- ・体操服を忘れない。また, 体操服をきちんと着用する。
- ・授業開始時間を守る。(着替えを敏速にする。)